



## 2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年5月15日

上場会社名 株式会社グリッド 上場取引所 東  
 コード番号 5582 URL <https://gridpredict.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我部 完  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名) 藤原 拓 (TEL) 03(5468)8800  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年6月期第3四半期の業績 (2025年7月1日~2026年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	1,951	28.7	310	3.5	317	5.1	207	7.2
2025年6月期第3四半期	1,515	44.3	299	188.3	301	261.6	194	190.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	43.70	39.58
2025年6月期第3四半期	41.04	36.95

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	4,608	4,152	90.1
2025年6月期	4,417	3,940	89.2

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 4,151百万円 2025年6月期 3,938百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年6月期	—	0.00	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年6月期の業績予想 (2025年7月1日~2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,100	50.2	450	5.1	440	2.7	280	△6.1	58.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年6月期3Q	4,786,056株	2025年6月期	4,750,626株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年6月期3Q	216株	2025年6月期	205株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年6月期3Q	4,759,607株	2025年6月期3Q	4,729,519株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直しや、旺盛な設備投資需要により、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の高騰や、供給制約による下振れリスクが懸念されるなど先行きに予断を許さない状況が続いております。

エネルギー価格の変動の影響を大きく受ける電力に関しては、EVの普及やIT機器の利活用等により今後も旺盛な需要が続くと見込まれ、一層の安定的かつ経済的な供給体制が求められております。昨今は生成AIの需要の高まりに伴い、大規模な電力消費を伴うデータセンターの設置や増強が加速しております。また、大量のデータを必要とする社会全体のデジタル化に伴い、製造に膨大な電力を必要とする半導体の需要も急速に増加しております。電力広域的運営推進機関によると、データセンターや半導体工場の新増設に伴う需要電力量は2035年度までに568億kWh増加し、電力需要全体でも増加の見通しとなっております（出典：全国及び供給区域ごとの需要想定（2026年度）、2026年1月21日公表）。

このような状況下、当社は電力会社に対して、AI技術や数値最適化技術を用いた電力需給計画の最適化を提供し、電力会社のエネルギー消費量の削減を実現してまいりました。今後も電力会社におけるサービス拡大を進めつつ、大口需要家に対しても蓄電池の充放電最適化のシステムを搭載した蓄電所を開発・提供し、社会全体のエネルギー消費量の削減に貢献してまいります。また、配船計画、生産計画、空調熱源制御等の最適化も提供しており、AIエンジン開発、システム開発、運用・サポートまで一貫したサービスとして展開してまいりました。これまでの計画業務は、オペレーションを熟知した熟練人材による多大な労力により成立しておりましたが、AI技術や数値最適手法を用いた当社の計画最適化サービスは、複雑かつ不確実性の高いビジネス環境下でも短時間で最適な計画を提供し、属人性を排することを可能としており、当社の事業に対する期待は一層高まっております。

当第3四半期累計期間は、電力、製造・運輸、都市・交通、エネルギーマネジメントの4分野に注力いたしました。予算規模が大きい電力会社からの追加受注や本番導入開発が進展し、電力分野の売上が全体の5割超を占めることとなりました。製造・運輸分野については、配船計画の本番導入開発が完了し保守案件へ移行したことから売上が減少し全体の2割を下回る結果となりました。都市・交通分野については、鉄道会社案件の売上が堅調に推移し全体の2割近くを占める結果となりました。エネルギーマネジメント分野については、電力系統接続申請支援の売上が8件発生しました。

当社は、AIエンジン及びシステム開発をフロー型売上、運用・サポートをストック型売上として定義しておりますが、当第3四半期累計期間の電力分野の合計売上高は1,041百万円（前年同四半期比14.5%増）、うちフロー型売上は868百万円（前年同四半期比11.1%増）でストック型売上は172百万円（前年同四半期比36.0%増）、製造・運輸分野の合計売上高は340百万円（前年同四半期比26.1%減）、うちフロー型売上は105百万円（前年同四半期比60.1%減）でストック型売上は234百万円（前年同四半期比20.1%増）、都市・交通分野の合計売上高は351百万円（前年同四半期比164.1%増）、うちフロー型売上は257百万円（前年同四半期比213.8%増）でストック型売上は93百万円（前年同四半期比83.8%増）、エネルギーマネジメント分野の合計売上高は160百万円（前年同四半期はなし）、社会インフラ4分野に分類されないその他の合計売上高は58百万円（前年同四半期比334.6%増）となりました。

また、当社は開発体制の強化に向けて優秀なエンジニアの採用を行うことで今後の事業拡大に向けた取り組みを進めており、当第3四半期会計期間末におけるエンジニアは89名（前年同四半期比25.4%増）となりました。加えて、営業体制の強化も進めており、営業・管理部門は44名（前年同四半期比33.3%増）となりました。このことから、製造費用におけるエンジニアの件数費は656百万円（前年同四半期比14.3%増）、販管費における営業・管理部門の件数費は378百万円（前年同四半期比26.2%増）となりました。

以上より、当第3四半期累計期間について、売上高は1,951百万円（前年同四半期比28.7%増）となり、営業利益310百万円（前年同四半期比3.5%増）、経常利益317百万円（前年同四半期比5.1%増）、四半期純利益207百万円（前年同四半期比7.2%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債および純資産の状況

#### (資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は4,608百万円となり、前事業年度末と比較して190百万円増加いたしました。流動資産は4,161百万円となり、前事業年度末と比較して1百万円減少いたしました。これは主に売掛金及び契約資産が338百万円、仕掛品が31百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が400百万円減少したことによるものであります。固定資産は446百万円となり、前事業年度末と比較して192百万円増加いたしました。これは主に本社移転に伴い有形固定資産に含まれる建物附属設備が9百万円、工具、器具及び備品が47百万円、建設仮勘定が76百万円、投資その他の資産に含まれる敷金及び保証金が112百万円それぞれ増加した一方で、無形固定資産が31百万円、投資その他の資産に含まれる関係会社長期貸付金が19百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債は455百万円となり、前事業年度末と比較して21百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が49百万円、その他に含まれる未払金が48百万円それぞれ増加した一方で、賞与引当金が20百万円、その他に含まれる契約負債が80百万円、未払消費税等が17百万円それぞれ減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は4,152百万円となり、前事業年度末と比較して212百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上により利益剰余金が207百万円増加したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の業績予想につきましては、2025年8月14日に公表いたしました「2025年6月期決算短信」に記載した内容から変更はございません。当期は、売上高、営業利益ともに堅調に推移する見通しとなっております。第4四半期会計期間においてはエネルギーマネジメント分野の開発案件に着手する見込みであり、業績予想の達成に向けて順調に進捗しております。経営環境の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,197,791	2,797,204
売掛金及び契約資産	875,868	1,214,251
仕掛品	44,777	76,354
その他	44,423	73,801
流動資産合計	4,162,860	4,161,612
固定資産		
有形固定資産	5,442	138,251
無形固定資産	121,480	89,677
投資その他の資産	127,873	218,988
固定資産合計	254,796	446,917
資産合計	4,417,657	4,608,529
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	5,820	—
賞与引当金	60,068	39,541
未払法人税等	38,046	87,434
その他	373,678	329,011
流動負債合計	477,613	455,986
負債合計	477,613	455,986
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	54,043	56,359
資本剰余金	3,512,834	3,515,150
利益剰余金	372,308	580,305
自己株式	△579	△611
株主資本合計	3,938,607	4,151,202
新株予約権	1,436	1,340
純資産合計	3,940,043	4,152,543
負債純資産合計	4,417,657	4,608,529

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,515,648	1,951,116
売上原価	415,484	614,799
売上総利益	1,100,164	1,336,317
販売費及び一般管理費	800,402	1,026,104
営業利益	299,761	310,212
営業外収益		
受取利息	2,144	6,272
受取保険料	187	—
物品売却益	225	1,436
業務受託手数料	97	1,385
その他	50	103
営業外収益合計	2,704	9,196
営業外費用		
支払利息	455	10
補修費用	133	2,325
その他	89	43
営業外費用合計	678	2,379
経常利益	301,787	317,028
特別利益		
固定資産売却益	—	4
特別利益合計	—	4
特別損失		
固定資産売却損	70	—
特別損失合計	70	—
税引前四半期純利益	301,716	317,032
法人税、住民税及び事業税	1,717	107,387
法人税等調整額	105,889	1,649
法人税等合計	107,606	109,036
四半期純利益	194,109	207,996

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、AI開発事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	36,025千円	53,136千円